

地球温暖化 米中日三つどもえの行方

足立 正彦さん (住友商事総合研究所 シニアアナリスト) の問題提起

ポスト京都へ／どう動く、2大排出国



あたち・まさひこ 専門はアメリカ大統領政治・選挙分析。著書に「米大統領候補入派の研究」(共著、44歳)

日本の鳩山首相は主要排出国の参加を前提に、温室効果ガスを「20年までに、90年比25%削減する」という中期目標を国際公約として明確にした。その具体的な道筋については今後十分な説明が求められる。

中国の胡錦濤国家主席は「温室効果ガス排出を2020年までに05年比で顕著に削減する」と述べ、全エネルギーに占める非化石燃料の割合を15%まで高めると言明した。オバマ大統領も、気候変動がもたらす脅威に立ち向かう必要性を訴えた。

米中は、両国の戦略・経済対話の柱の一つに環境・エネルギー問題を据えた。中国にクリーンエネルギー研究所を開設することで合意し、二酸化炭素回収・貯留(CCS)技術、電気自動車、太陽光発電など広範な技術協力について協議している。民間レベルでも交流が活発化している。

ポスト京都の枠組みを決める国際交渉の進展は、先月のCOP15(京都議定書後継条約締結国会議)で、各国の温室効果ガス削減目標をめぐって、新たな国際枠組みを築くうえで注目される。世界の温室効果ガス排出量の4割を占める中国と米国の動きである。

李志東さん

長岡技術科学大教授



リ・ジードン 中国人民大卒。エネルギー環境経済論、経済学博士。著書に「中国の環境保護シナリオ」など、47歳

李 中国の場合、胡錦濤政権は「和議(調和)とれた」社会の構築策を重視し、その中で地球環境政策を積極的に推進している。大気汚染など国内の問題解決も、安定成長に必要なエネルギー安全保障の解決にも寄与する。

李 中国の交際の最低ラインは「総量規制を引き受けたい」ということだ。中国は、経済規模の拡大で、政治的発言権を増してきた。一方、温暖化問題で、民間レベルで米中がポスト京都の枠組みを左右すると言われている。

吉田 米中の政権で、地球温暖化対策の優先順位は高いのか? 足立 米国では6月、温室効果ガスの排出削減(削減)取引制度を導入したワックスマン・マリー法案(●)が下院を通過した。

吉田 米中の政権で、地球温暖化対策の優先順位は高いのか? 足立 米国では6月、温室効果ガスの排出削減(削減)取引制度を導入したワックスマン・マリー法案(●)が下院を通過した。

吉田 文彦

本紙論説委員



よしだ・ふみひこ 80年、朝日新聞入社。米欧の特派員を経て、地球規模問題を担当。著書に「核のアメリカ」など、54歳

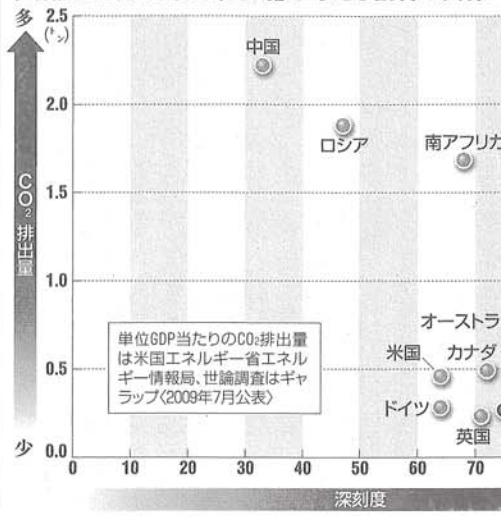
吉田 米中の政権で、地球温暖化対策の優先順位は高いのか? 足立 米国では6月、温室効果ガスの排出削減(削減)取引制度を導入したワックスマン・マリー法案(●)が下院を通過した。

吉田 米中の政権で、地球温暖化対策の優先順位は高いのか? 足立 米国では6月、温室効果ガスの排出削減(削減)取引制度を導入したワックスマン・マリー法案(●)が下院を通過した。

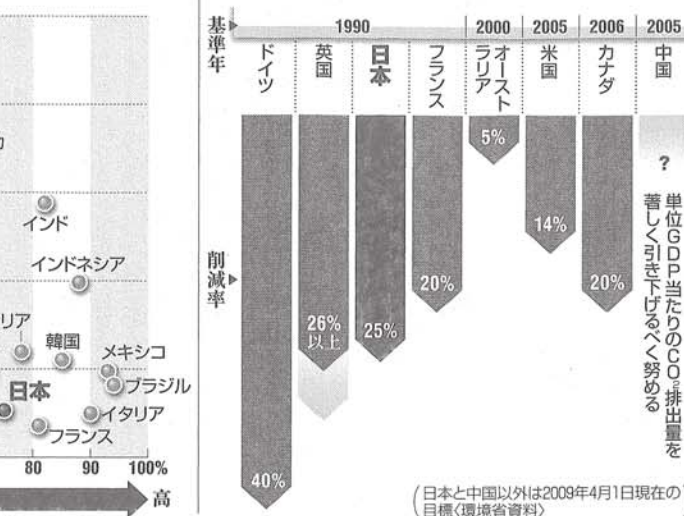
吉田 米中の政権で、地球温暖化対策の優先順位は高いのか? 足立 米国では6月、温室効果ガスの排出削減(削減)取引制度を導入したワックスマン・マリー法案(●)が下院を通過した。

吉田 米中の政権で、地球温暖化対策の優先順位は高いのか? 足立 米国では6月、温室効果ガスの排出削減(削減)取引制度を導入したワックスマン・マリー法案(●)が下院を通過した。

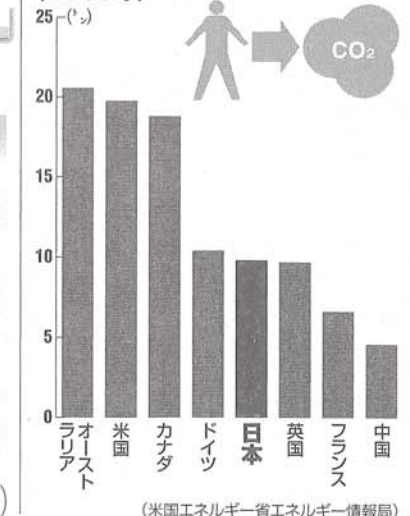
GDP1000^億当たりのCO₂排出量(2007年)と世論調査で温暖化を「深刻」と考える割合の関係



2020年までの温室効果ガス削減目標



国民1人当たりのCO₂排出量(2006年)



東京財団レポート

米国と比べ、1人当たり・国内総生産(GDP)1千^億当たりの双方で二酸化炭素(CO₂)排出量が少ない日本と欧州連合(EU)主要国。地球温暖化が「深刻だ」と考える割合は米国より高い国が多いのが目につく。

吉田の提言

成長戦略巡る攻防と心得よう
温暖化が進むと米中ともに影響が大きい。ヒマヤラの氷河は中国に流れ、大河の水源地で溶けてくれば水問題も深刻になる。米国では標高が極めて低いフロリダなどで水没地帯が増え、内陸部では乾燥の拡大で農業などが打撃を受ける恐れがある。

吉田 米中の政権で、地球温暖化対策の優先順位は高いのか? 足立 米国では6月、温室効果ガスの排出削減(削減)取引制度を導入したワックスマン・マリー法案(●)が下院を通過した。

吉田 米中の政権で、地球温暖化対策の優先順位は高いのか? 足立 米国では6月、温室効果ガスの排出削減(削減)取引制度を導入したワックスマン・マリー法案(●)が下院を通過した。

吉田 米中の政権で、地球温暖化対策の優先順位は高いのか? 足立 米国では6月、温室効果ガスの排出削減(削減)取引制度を導入したワックスマン・マリー法案(●)が下院を通過した。

吉田 米中の政権で、地球温暖化対策の優先順位は高いのか? 足立 米国では6月、温室効果ガスの排出削減(削減)取引制度を導入したワックスマン・マリー法案(●)が下院を通過した。

しゅろらん「衆論」
多くの人の議論・意見(広辞苑)
制度をも廃したる(福沢諭吉「文明論之概略」)

